

農地法第3条の規定による許可申請書の記入について

1 農地面積の記入について

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）に記載する農地の面積については、下記に留意して記入してください。（※単位は全て㎡で記入してください。）

① 1－1に記載する面積

所有地	自作地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が所有する農地のうち、きちんと自分たちで耕作している農地。
	貸付地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が所有する農地のうち、人に貸していてその人がきちんと耕作している農地。
	非耕作地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が所有する農地のうち、耕作されていない農地。
所有地以外の土地	借入地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が人から借りている農地のうち、きちんと自分たちで耕作している農地。
	貸付地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が人から借りている農地のうち、人に貸していてその人がきちんと耕作している農地。
	非耕作地	譲受人や同一世帯の家族（2親等以内の親族）が人から借りている農地のうち、耕作されていない農地。

② 1－2に記載する面積

権利を取得する農地と「1－1」に記載した自分たちで耕作している農地を含めた作付け予定を地目、作付け作物別に記入してください。

※取得する農地の作付け予定だけではありません。

③ 5－1に記載する面積

権利取得後の経営面積を記入するので「1－2」に記載した農地面積の合計を記入してください。

2 押印

押印は認め印でかまいません。

記入例

様式第1号の1

農地法第3条の規定による許可申請書

●●年5月15日

豊後高田市農業委員会会長 様

<譲渡人>

住所 豊後高田市西真玉〇〇〇〇番地

氏名 真 玉 一 郎

印

TEL 53 - 〇〇〇〇

<譲受人>

住所 豊後高田市呉崎〇〇〇〇番地

氏名 呉 崎 太 郎

印

TEL 22 - 〇〇〇〇

下記農地(採草放牧地)について

所有権

賃借権

使用貸借による権利

その他使用収益権 ()

を 設定(期間 年間) 移転

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所
譲渡人	真玉 一郎	46	会社員	豊後高田市西真玉〇〇〇〇番地
譲受人	呉崎 太郎	50	農 業	豊後高田市呉崎〇〇〇〇番地

2 許可を受けようとする土地の所在等 (土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積(m ²)	対価、賃料等の額(円) (10a当たりの額)	所有者の氏名又は名称 (現所有者が登記簿と異なる場合)	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類、内容	権利者の氏名又は名称
西真玉字△△9997	田	田	1,000	¥250,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9998	畑	畑	2,000	¥400,000 /10a	真玉 一郎		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

所有権の移転	(売買 贈与 交換)
賃借権の設定	(賃貸借 使用貸借) (~) 賃借料 ()
利用開始時期	●●年6月10日から

(記載要領)

- 1 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合においては、押印を省略することができます。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付（独立行政法人及び地方公共団体を除く。）してください。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 4 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	自作地	7,000	5,000	2,000		
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

所有地以外の土地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	借入地	3,000	2,000	1,000		
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

（記載要領）

- 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～であることから条件不利地であり、〇年間耕作中であるが、草刈り・耕起等農地としての管理を行っている」等耕作又は養畜の事業に供することができない事情を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採 放 牧 地
作付(予定)作物	水稲	白ネギ						
権利取得後の 面積(m ²)	8,000	5,000						

※田と畑の合計面積 = (「1-1」の耕作面積) + (取得農地の面積)

(2) 大農機具又は家畜

種類 数量		耕うん機	トラクター	田植機	軽トラック	コンバイン	
確保して いるもの	所有	1	1	1	1		
	リース						
導入予定 の 物 の 物	所有					1	
	リース						
(資金繰り について)						7,000,000円 農協から融資	

(記載要領)

- 1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況

農作業暦 30 年、農業技術修学暦 年、その他 ()

② 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)	現在: 0 (農作業経験の状況:)
	増員予定: なし (農作業経験の状況:)
③ 臨時雇用労働力(年間延人数)	現在: 0 (農作業経験の状況:)
	増員予定: なし (農作業経験の状況:)

④ ①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間

- ・ 距離 3.0 k m
- ・ 交通手段 車 徒歩 その他 ()
- ・ 時間 10 分

<農地法第3条第2項第2号関係>（権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください。）
2 その法人の構成員等の状況（別紙に記載し、添付してください。）

<農地法第3条第2項第3号関係>
3 信託契約の内容（信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。）

<農地法第3条第2項第4号関係>（権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。）
4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況
（「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。）

(1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名等

農作業に従事する者の氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との関係 (本人または世帯員等)	農作業への年間従事日数	備 考
呉 崎 太 郎	50	農業	本人	300日	
呉 崎 花 子	46	農業	妻	150日	

(2) その者の農作業への従事状況（該当する期間(実績又は見込み)を「←→」で示してください。）

	作目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間	水稻・麦	←→											
その者が農作業に常時従事する期間	呉崎太郎	←→											
	呉崎花子							←→					

（「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。）

（記載要領）

備考欄には、農作業への従事日数が年間150日に達する者がいない場合に、その農作業に従事する者が、その行う耕作又は養畜の事業に必要な行うべき農作業がある限りこれに従事している場合に○を記載してください。

<農地法第3条第2項第5号関係>
5-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況（一般）
(1) 権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計
(権利を有する農地の面積+権利を取得しようとする農地の面積) = 13,000 (㎡)

(2) 権利取得後において耕作又は養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計
(権利を有する採草放牧地の面積+権利を取得しようとする採草放牧地の面積) = (㎡)

5-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況（特例）
以下のいずれかに該当する場合は、5-1 を記載することに代えて該当するものに印を付してください。

☐ 権利の取得後における耕作の事業は、草花等の栽培でその経営が集約的に行われるものである。

☐ 権利を取得しようとする者が、農業委員会のあつせんに基づく農地又は採草放牧地の交換によりその権利を取得しようとするものであり、かつ、その交換の相手方の耕作の事業に供すべき農地の面積の合計又は耕作若しくは養畜の事業に供すべき採草放牧地の面積の合計が、その交換による権利の移転の結果所要の面積を下ることとならない。

（「所要の面積」とは、北海道で2ha、都府県で50aです。ただし、農業委員会が別に定めた面積がある場合は当該面積です。）

☐ 本件権利の設定又は移転は、その位置、面積、形状等からみてこれに隣接する農地又は採草放牧地と一体として利用しなければ利用することが困難と認められる農地又は採草放牧地につき、当該隣接する農地又は採草放牧地に現に耕作又は養畜の事業に供している者が権利を取得するものである。

<農地法第3条第2項第6号関係>

6 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権原に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者（賃借人等）が、その土地を貸し付け、又は質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

☐ 賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合である。

☐ 賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合である。

☐ 農地保有合理化法人又は農地利用集積円滑化団体がその土地を農地売買等事業の実施により貸し付けようとする場合である。

☐ その土地を水田裏作（田において稲を通常栽培する期間以外の期間稲以外の作物を栽培すること。）の目的に供するため貸し付けようとする場合である。

（表作の作付内容＝ 、裏作の作付内容＝ ）

☐ 農業生産法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

<農地法第3条第2項第7号関係>

7 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法的の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

- | | |
|--|----------------------|
| ・農地の集積等の分断 | (ある ・ なし) |
| ・有機栽培の地域への影響
(理由 有機栽培地域ではないため ・ 地域と一緒に有機栽培を行うため) | (ある ・ なし) |
| ・地域農業者が一体となって水利調整を行っている場合
(参加する ・ 参加しない) | |
| ・その他の影響 | (ある ・ なし) |

II 使用貸借又は賃貸借に限る申請での追加記載事項

権利を取得しようとする者が、農業生産法人以外の法人である場合、又は、その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合には、Iの記載事項に加え、以下も記載してください。

(留意事項)

農地法第3条第3項第1号に規定する条件その他適正な利用を確保するための条件が記載されている契約書の写しを添付してください。また、当該契約書には、「賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から〇〇日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還する。乙が原状に復することができないときは、乙は甲に対し、甲が原状に復するために要する費用及び甲に与えた損失に相当する金額を支払う。」、「甲の責めに帰さない事由により賃貸借契約を終了させることとなった場合には、乙は、甲に対し賃借料の〇年分に相当する金額を違約金として支払う。」等を明記することが適当です。

<農地法第3条第3項第2号関係>

8 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください。)

〇月〇日に〇〇地区の農家、〇〇水利組合と話し合いを行い、当社の地域農業における役割分担を次のとおり決定した。

- 1 農道、水路、ため池等の除草作業等に積極的に参加すること。
- 2 鳥獣害対策に地域農家と連携し、積極的に取り組むこと。
- 3 上記項目を遵守することとして、確約書を作成すること。

(別紙1)

1 申請者の氏名等

申請者	氏 名	捺印	年齢	職業	住所
譲受人	呉 崎 太 郎	○	50	農業	豊後高田市呉崎○○○○番地
譲渡人	真 玉 一 郎 (持分2分の1)	○	46	会社員	豊後高田市西真玉○○○○番地
	香々地 花 子 (持分2分の1)	○	43	無職	豊後高田市香々地○○○○番地
	以 下 余 白				

注1 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」、及び「譲渡人何某
外何名」とし、申請書の1の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請するものとする。

注2 この別紙1を添付する場合には、申請書の次に付け、申請書と別紙にまたがるように割り
印をするものとする。(割印は全ての申請者の印を押印する。)

(別紙2)

2 許可を受けようとする土地の所在等 (土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料等の額 (円) (10a当たりの額)	所有者の氏名又は名称 (現所有者が登記簿と異なる場合)	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類、内容	権利者の氏名又は名称
西真玉字△△9981	田	田	1,000	¥250,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9982	畑	畑	2,000	¥400,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9983	田	田	1,000	¥500,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9984	畑	畑	2,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9985	田	田	1,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9986	畑	畑	2,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9987	田	田	1,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9988	畑	畑	2,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
西真玉字△△9989	田	田	1,000	¥300,000 /10a	真玉 一郎		
以下余白							

注1 土地の所在等が申請書に書ききれない場合には、この別紙2を添付し、申請書の2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請するものとする。

注2 この別紙2を添付する場合には、申請書の次に付け、申請書と別紙にまたがるように割り印をするものとする。(割印は全ての申請者の印を押印する。)